

- ・市町村名 南さつま市（12） 枕崎市（3） 南九州市（2） 霧島市（2）
鹿屋市（8） 垂水市（1） 志布志市（2） 錦江町（1）
薩摩川内市（43） 阿久根市（2） いちき串木野市（6） さつま町（1）
指導員（72） 設置者（4） その他（4） 不明（1）
初めて参加した（26） 参加したことがある（56）
- ・県連加入 加入している（46） 加入していない（15） 不明（19）

■今回の指導員研修会（永松範子さんの講演）は、いかがでしたか？

- ・3会場のいずれかで、お聞きしたいと思い来ましたが、やはりお話を聞いて良かったというお話でした。あっという間に時間が過ぎていました。
- ・大変楽しく勉強させていただきました。勉強になりました。
- ・先生のお話に共感したり感動したり、時間も忘れ引き込まれていました。立ち上げと共に指導員をはじめて5年目になりますが、自分自身もなれすぎてしまっていた所があったので、今日のお話を聞かせていただいて、もう一度初心にもどれたような気がします。
- ・指導員の仕事の大切さ、勉強し続けることの意義、手探りはじめた仕事ですが、本当に毎日いろいろなことも起こりますが、保護者の方たちの少しでもお手伝いになればと思いながらの日々、子どもを見守り大切にしていきたいと思います。先生のお話を聞きながら、自分のしていることの再認識ができました。ありがとうございました。とても楽しい時間でした。
- ・例をあげながら、また自分の経験を踏まえての説明だったので、とてもおもしろ味があり、楽しかった。
- ・元気いっぱい先生の講演で、とても興味深く聴くことができました。
- ・講演内容、よく理解できました。指導員研修をもっと増やして欲しい。
- ・話しがとても上手で、テキパキとした口調がとても聴きやすいでした。
- ・楽しく聴きました。毎日子どもたちと向き合い、いろいろな経験をされていることが見えるようでした。子どもの立場に立ち、子どもの目線で見、理解する努力をなさっていると思います。見方を変えることで、いろんなことが見えてくると勉強しました。
- ・全ての話しが、理解（納得）できました。学童保育の必要性をさらに感じる事ができました。
- ・よく通る声で笑いを交えて、楽しく役立つ話しをありがとうございました。
- ・はぎれの良い楽しいお話でした。あらためて学童保育指導員の役割を教えてくださいました。
- ・子どもの心に寄り添い親の心に寄り添い子どもが発する言動、様子、親の様子の細かいところに気を配り、今抱えている子ども、母親たちの悩みに少しでも役に立てたらと研修・講話の中で思いを新たにしました。
- ・体験談を話されてとても共感し、自分でも実践したり、心構えを入れ替えようと思いました。管理的に大人数いるとなりがたちだったと反省しました。子どもが目に見えなくても成長しているんだと思い、過程を大切に接していこうと思います。
- ・とても貴重な時間でした。自分自身も向上していきたいと思います。
- ・現場を踏まえての話しでしたので、すべて心に残りました。
- ・何もかも日々経験していること、悩んでいることばかりでうなずけました。とても胸を打つ内容でしたし、変えていけるところがたくさんありましたが、楽な方ではなく、それは大変なことだと思うので、なかなか続けていくことは自己改革も必要ですが、頑張りたいと思いました。
- ・自分自身の経験が少ないので、とても勉強になりました。また、体験談などを聞けてたらいいなと思います。
- ・私自身の思いにも似た体験や、永松先生のお話を聞いて大きく共感できました。
- ・実体験で共感する部分が多すぎてためになった。
- ・自分たちのやっている保育の仕方でもいいんだと、すごく自信と安心をもらいました。子どもや保護者に対する思い、今のままでいいと思いました。今までの情報交換などで迷うこともありましたが、今日公園を聞かせていただいて本当によかったです。
- ・先生のパワフルな講演を聞いて、自分はまだまだ子ども遊び足りないし、話し足りないなと思いました。
- ・体験談から伝わるものがあり、自分の仕事を振り返る良い機会になりました。
- ・先生のお人柄がしのばれるとても楽しく、有意義な研修（講演）でした。具体的な例を挙げてのお話に引き込まれました。今、まさに直面しているケースと重なる事例もあり、大変参考になりました。
- ・実践をまじえての講演！ すごく分かりやすく、再度確認することができました。
- ・現場の指導員として活躍されている先生の生の声、話しを聞くことができ、日々感じていることや思いが指導員と

しての大切な積み重ねであり、子どもたちの心に寄り添うための必要なことなのだということが実感できました。保護者との信頼関係＝学童の子どもの成長の見守りと思い頑張っていきたいと思います。

- ・とても力強い言葉に元気をもらいました。指導員のあるべき姿に共感するところ、また反省するところたくさんありました。日々、勉強！！これからも一日、一日を大切に、子どもたちの心を大切に受け止めながら、指導員の仕事を頑張っていきたいと思います。今日は、永松先生の話聞くことができて、本当に良かったです。
- ・基本となる指導員の姿を学ぶことができました。一番心に残った言葉は「指導員は子どもを見る仕事だけど、子どもから見られる仕事でもある」ということ。また、平等に接する…との話の中で、その子一人ひとり、その時に接しないといけない時がある、ということ。とても心に残る、刺激を受けた研修でした。
- ・現場でのなしを聞け、今後の支えになりました。素晴らしい考えをお持ちで感動しました。
- ・とてもよかったです。心にゆとりがなく、毎日どうしたらいいのだろう？と思う毎日だったので…。色々と考えられました。初心に戻って、子どもと仲良くなりたいたいという気持ちを大切にしていきたいです。
- ・このように勉強させていただく機会を設けていただき、本当にありがとうございました。我が身を振り返り、子どもとの関わりを反省しつつ、努力していきたいと思います。
- ・保育士からの学童指導員で、教える姿勢についなりがちです。いつも「ホッ」と心が落ちつける場所でありたいという思いがあります。すぐに結果を求めなければ、心が少し優しい思いになる気がします。頑張って一人一人の子どもを大切にしていこうと思いました。
- ・とにかく、すべての話しに自分が引きつけられ、とにかく一言一言が耳に残ってくるほど、ありがたい話で全てが“そうそう…”みたいな気持ちで聞かせていただきました。先生の話はもっと聞いていたいと思いました。
- ・仕事上の身近な話が多く、聞きやすく楽しかったです。私も無資格ですが、頑張ります。
- ・都会の現場の声が聞けて、良かったです。
- ・指導体験を分かりやすく聞きやすく、もっと講話を聞きたいと思うような話しでした。
- ・実体験にもとづく貴重な話をエネルギーに話していただき、素晴らしい研修になり、また頑張ろうという意識が強くなりました。
- ・現場の様子など話をされて、今後の子どもたちの接し方の参考になりました。
- ・現場での指導員、児童、保護者とのかわりが手に取るようにわかる話しでした。私自身も指導員として同じような仕方仕事にかかわるようになりました。年数がたつに従い、その責任の重さ、専門性の必要も感じています。今回、今現在自分自身が行っていることや感じていることの確認を行うことができました。運営していく上での研修、打ち合わせ、話し合いの必要性も改めて感じました。
- ・素晴らしい！！やはりお人柄、経験からのお話なので良かったです。
- ・今年指導員になり、基礎（実践を通した）を学んだことがなく、今回とっても勉強になりました。たたく親もいて、まさしく“あつ”と思うほど、すーっと心に入ってくるお話でした。
- ・経験がなく、まだどうしたらいいか分からない状態ですが、先生の話は分かりやすく、そうだ！と納得するところが多くありました。とても参考になったと思います。
- ・日常的なおいての体験は素晴らしい。
- ・すごく元気があり、話しも聞きやすく、あつという間だった気がします。実際に現場で起こった話しなどがたくさんあり、まだ経験の少ない自分にはすごく勉強になりました。
- ・事例にそった話し方で講演がなされ、分かりやすかったです。
- ・全国的に鹿児島は子どもが多く、保育園や幼稚園、学童保育は利用者の確保に楽観していた感があり、学童保育に関して、指導員自体の教え方や施設整備は遅れており、既に競争の市場原理が入っていると聞いていた。神奈川県事例を知り得たのはよかった。
- ・指導員会での活動を通したお話、児童クラブでの事例にそったお話…どれも分かりやすく、かつ心打たれる講話でした。タイトルにある「寄り添う」の意味が、じわじわと先生の話がすすむにつれ分かってきました。指導員という立場を利用して、上からの指導をしてしまいがちです。寄り添い、耳を傾け、心を育てる、そんなサポートを心がけたいと思いました。
- ・早口だけど、とても具体的に分かりやすく楽しいお話でした。「永先」の人柄がとても現れていて、学童生活の楽しそうな様子が目に見えるようでした。学ぶことがたくさんありました。元気をもらいました。
- ・学童指導員という仕事をとても生き生きと前向きにとらえ、さらに前進していこうという気持ちが伝わってくる講演会でした。また、子どもや保護者の気持ちを受入ながら、頑張っておられるお話を聞いて、たいへん嬉しく、励みとなるものでした。
- ・とても経験豊かな方だということは明らかで、話し方や現場の状況も非常に分かりやすく、本当に素晴らしい内容で身の引き締まる思いで聞いていました。
- ・とっても分かりやすく毎日の自分の体験を先生の口から出して下さって、安心しました。これからも頑張っていきたいです。

- ・体験談等とても楽しく聞かせていただきました。児童との接し方や保護者への接し方などとてもためになりました。
- ・初めて指導員研修会に参加して、私自身指導員としてまだ半年の未熟者で、日々、子どもとのかかわりや指導員としてどのようにしたらいいのか分からないところがたくさんあったので、今日の永松さんの講演を聞くことができて、指導員として子どもと向き合う大切さを知ることができました。
- 私も今日まで、永松さんと同じで子どもが楽しく過ごせる場、一緒に遊んだり楽しく時間を過ごしていればいいのかな、と思っていました。学童保育指導員として、子どもとのかかわり方、保護者に伝えることの大切さなど、もう一度、自分の考えを改めることが必要だと感じました。また機会があれば永松さんの講演会に参加したいと思いました。すてきな講演会をありがとうございました。
- ・初心を忘れずにいることが大切だなーと思いました。
- ・指導員の立場なので毎日実際にやりとりされるであろう、クラブでの細かい子どもとのやりとりが実感として伝わってきました。
- ・とても「ヤル気」のある先生で、受け身の立場の自分が恥ずかしくなりました。見習いたいと思いました。
- ・とても良いお話が聞けて、参加できたこと「良かったな」と思うことでした。
- ・自分たちの実践と共通する話があって、納得するやら「そうか」と思う話があって、楽しく聞けた。
- ・日頃の自分の体験や接している子どもたちとの出来事を思い出しつつ、重ねつつ聴かせていただきました。あまり他の学童の話を知る機会がないため、とてもためになりました。
- ・とても楽しく分かりやすかったです。共感できることばかりで、ずっとうなずいていました。指導員として親としても学べた。
- ・楽しく拝聴させていただきました。経験談が聞けて、自分たちの学童にも生かしていきたいと思います。自分ができることを見つけて、熱意をもって子どもたちに向かい合いたいと思いました。
- ・大変良かったです。基本的なところをもう一度確認できて良かったです。
- ・子どもの心に寄り添うことの大切さや子どもへのかかわり方、いろいろな気づきの大切さを感じました。
- ・大変良かった。児童クラブは学校ではなく、家庭のような雰囲気を作りたいと常々願っていました。その参考になることがいっぱいお話を聞けて良かったです。「どうしたの」の声かけが、子どもの心に寄り添うこと。
- ・永松先生の講演は2回目です。(去年、福岡にて指導員研修会) 聞きやすく力強く元気をいただきました。また、明日からもがんばろうと気持ちも新たにしています。
- ・学童保育でのさまざまな事例に基づいての分かりやすい話の内容であり、指導員として子どもたちの心を聞いてくれる存在でありたいと思いました。
- ・学童での実状にそったお話が多く、大変参考になりました。ただ叱るのではなく、子どもの気持ちを良く聞いて、受けとめてあげること、発達障害のまわりの子どもたちへの対応など、とても勉強になりました。
- ・永松先生のお話は、毎日の指導員に携わっている自分たちの思っていること、先生の長年の経験の事がら、本当に身にためになることでした。また、明日からの保育も頑張っていきたいです。
- ・経験をふまえてのお話だったので、とても分かりやすく共感が持てました。学童保育は素晴らしい仕事であることを改めて感じる事ができました。
- ・ご自身の経験をもとに話されて、とても理解しながら聞くことができました。
- ・バイタリティーのある先生で、楽しく聞かせていただき、子どもに話してもらえるような先生を目指していきたいです。
- ・とても心に響くものがありました。お話もユニークであつという間で、もっと聞いていたいくらいでした。私自身、毎日指導員として生活する中で迷いなど多々ありますが、今日のお話のおかげで先がみえた部分があるように思います。とても充実した時間になりました。
- ・現場からの生の指導員としての体験が参考になった。
- ・現場の実践と子どもたちの対応の仕方をお聞きすることができて、とても勉強になりました。
- ・ご自身の体験をもとに、現場の声を聞かせていただき、とても勉強になりました。子どもの声に耳を傾け、大事にしていきたいと思いつつも、本日のお話を伺う中で、改めて自分の姿勢を考えるよい機会となりました。
- ・現場の声だったので「なるほど!」「あれのことだ」等、とても共感しやすく、話の内容が頭にイメージしながら、お話を聞くことができ、とても楽しい講演でした。まだまだずっと聞いていたかったです。永松先生のような指導員がいる学童は、子どもたちにとって大変魅力的で、居心地の良い学童だと思いました。私も永松先生のように、子どもの心に寄り添うことのできる指導員でありたいと思います。
- ・現場での状況や子どもとの関わりを詳しく知ることができました。子どもの気持ちに寄り添い、保育を行って行くことが大切だと学びました。学童保育指導員の仕事や役割を改めて学ぶことができる講演になりました。
- ・これまでの子どもたちがケガしないように、危険な目にあわないようにといったことに気を取られていた気がしました。ちょっかいを出されることも悩んでいましたが、今後サインとして子どもたちを見つめていきたいと思います。

■ 研修会で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・私は常に指導員同士のチームワークの大切さを話していますので、今回永松先生のお話をお聞きして、ますますそう思いました。指導員会の大切さを実感しました。
- ・学童に来る子には、いろいろな事を抱えてくる子がたくさんいます。どんな子でもいろいろな思いがあり、その家庭には子育ての歴史がある、その子一人ひとりにも歴史があるように、学童にも歴史があり子どもたちをこれからも見守って行きたいと思いました。
- ・子どもの気持ちの橋渡し、感情のやりとりを大切に、教える姿勢ではなく心で聴く存在に！！の部分。
- ・宿題…家事をしながらでも工夫しだいで見てやることができる。子どもの勉強の中心ではない。見守り、ささえの大切さ。
- ・学童利用料、安くなればみんな利用できるのになーと強く思った。（経済的な厳しさ）
- ・子どもたちの心、性格を尊重しながら大事に育て教えて、いかに最後は責任のあり方を学ぶ大切さを教えられました。
- ・指導員の方々のおかれている経済的な立場の厳しさ。
- ・「日本を支える学童」の保育のあり方を研修できてよかったです。児童健全育成の大切さを知り、あそび、経験、体験を基調に子どもを育てていきます。
- ・学童保育に対する理解（地域への）がまだまだ十分ではないと思っているので、学童保育の大切さを広く伝えていかなければならないと思う。
- ・面倒な問題も子どもにとって大事なことで、面倒がらずに長い目で見て、トラブルをおそれず生活の一部と考える。面倒な問題は、指導員の質を高めると思う。
- ・どのクラブでも悩みは同じだと感じました。個々の先生の考えで対処していくことが大切だと思いました。正しい、正しくないではなく、それぞれの方法を持ち、子どもの心にそったものをしていくべきだと印象づけられました。
- ・指導員としての姿勢、心構えが改めて分かりました。
- ・面倒なことが起こるとすぐルール化してしまう、とても胸が痛いでした。
- ・宿題について、色々学べた。
- ・ほんとに子どもたちは指導員をよく観察していて、先生のお話を聞いてすごく共感できました。ゆっくりとした中で、お話がしっかりきけてよかったです。「学童はいく」の本を読んでいない人が多いことにびっくりしました。すごく参考になる本なので、購読を続けたいと思っています。
- ・もっと保護者、学校と連携していきたいと思いました。
- ・保護者との信頼関係が大事！ 共感できない保護者との関係、修復する方法が分かりません。
- ・子どもの心に寄り添うことが、一人一人の子どもに対して、どんなにか大切なことなのかよく分かりました。
- ・子どもたちの声を聞いてあげる。保護者との信頼関係を大切にすること。
- ・子どもの心に寄り添い、働く親を支えて、学童の仕事の価値や考えをもっとたくさんの方に伝え分かってもらい、学童保育をよくしていく。
- ・先生の日々の話しが聞けてよかったです。最近怒ってばかりだったので、もうすこし「ゆとり」を持って対応していこうと思いました。
- ・専門職と聞き、もっと自分の意識の中で、気持ちを高めていかなくてはと思いました。
- ・直接実務的な内容で分かりやすかった。
- ・子どもといつも接していて、子どもの心に寄り添うことに心がけてはいますが、もっともっと自分が勉強成長していくことが大切と感じました。
- ・ケガや特異事項の発生時のマニュアル作成についての話し、対応が大事できっちりする指導員、運営者との意識の共有について、受入時にコンセンサスを作る。
- ・一人ひとり子どもたちを大切にされた指導をされていると感じました。私も子どもの心にそった言葉かけをしたいと思いました。永松先生のバイタリティーな話し方がすごく印象に残りました。私も子どもたちに元気な姿を見せられるように頑張りたいと思います。
- ・阿久根市は現在、連絡協議会には入っていないクラブが多いです。市内6か所については（社協運営）、毎日代表スタッフ会を開き、年間の研修計画を立て、問題点なども出し合ったりして意思疎通を計っています。クラブの大小の違いもあり、学校との関わりなども考えたり、災害対策などはかにも考えなければならぬことが多いのですが、系統立て、まとめたものはいまのところ（各クラブ単位ではあると思うが）持っていませんので、やはり必要だと感じました。指導員の入れ替わりが多いので、いつでも研修、対応していけるかと感じた。
- ・同じ指導員の立場というところでの話しが、身近でとても良かった。
- ・毎回新鮮でとても良い。

- ・まず、どんな時でも子どもの気持ちを聞いて受け入れてあげることが、大事なんだと思います。まず叱るのではなく、ちゃんと子どもの心に寄り添える指導員になりたいです。
- ・自分でわかりにくい部分は、あんなふうにされているのだということが理解できました。
- ・指導員の重要性、必要性、価値が認められるためにも、今回のようなスキル向上を目指した研修会を増やしてほしい。
- ・問題児「A子ちゃん」のお話し、自分の所にも似た子どもがいるので、身につまされる思いでした。
- ・講演をされる先生の体験やエピソードを加えながら、分かりやすく話しをしてくださり、楽しく拝聴させていただきました。
- ・永松先生といえども新人時代というのはあって、その時の考えや今に活かされている内容等、体験談が聞けて良かったです。もっともっと色々な話しを聞いていたいと思いました。
- ・研修会の大切さをよく分かりました。一人ひとりの子どもの声を聞く大切さ。
- ・子どもの要求を理解し答えることや、みんなで一緒に考えるということ、またルールで決めつけず、児童にどうしてダメなのかなどと理由等理解させるなど
- ・子どもの心に寄り添うことの大切さ、一人ひとりとしっかり向き合うことの大切さが印象に残りました。
- ・子どもの行動の裏にある思いを理解しようとする努力がとても重要で、つい目先のことにとらわれてしまうので、反省しなければいけないと思った。
- ・とにかく元気のある先生でした。子どもに「永セン」と呼ばれ信頼されているのがとても良く分かりました。指導員の立場を力説されて心強く感じました。
- ・子どもたちの親（保護者）に声かけする言い方など、とても印象に残り勉強になりました。
- ・指導員会とか勉強会の場が、いかに大事かということは分かっているのですが、数が少ないのか情報がほしい。
- ・発達障害とのかかわり方。「どうしたの？」と優しく声かけすること、お互いの気持ちを共感する。
- ・集団を乱す子、手のかかる子への対応。その子にはその子なりの理由がある、親が先に何でもしてあげてしまう。他の人に迷惑がかからないように…、子どもの育ちを長い目で見守り、信じていくこと、コミュニケーションも必要なんだなと思いました。
- ・子どもをとおして親御さんと信頼関係を築けたこと、指導員の向上を熱心にされていると感じました。
- ・子どもたちの言葉、サインに気づいてあげて、聞いてあげる、受け入れてあげることを優先しようと思いました。
- ・私たちの仕事のすばらしさを再確認しました。
- ・ケガした時の対応の仕方が参考になりました。[病院に連れて行くことを保護者に連絡して、病院の結果を連絡する。そのための研修を保護者との連絡で丁寧に話し合っておく（保護者会等で）]
- ・子どもの心を受けとめる、寄り添う。指導員同士の関わり、話し合い、共有が大切。
- ・指導員としてこの仕事のすばらしさ、誇りを持ってやりとげることの大切さを実感できました。
- ・時間を割いていらしている指導員の姿勢。研修の大切さ。
- ・親も一緒ですが、子どもの発するサインを受け取ろう。当たり前に戻ってくる子どもたち。
- ・“子どもは遊びのプロ”という言葉でとても納得できました。子どもたちに遊びを教えてもらっています。
- ・子どもの側に立って接していらっしゃるのが、印象的でした。
- ・学童にとって、いろいろと違いがあるのだなあとと思いました。
- ・他の市町村にももっと声かけをし、北薩連協を立ち上げ、スキルアップに努めたい。方法を検討しなくては。
- ・子どもと常に向き合って、真摯に取り組んでいらっしゃる先生のお姿、お話にパワーをいただきました。今の現状に甘えることなく、今後も研修を深め、勉強していきたいと思います。
- ・指導員は、子どもを見守る仕事ですが、子どもから見られている立場でもあるということです。いろいろな反応で子どもを受けとめていきたいです。
- ・子どもを長い目で見守り、信頼していくことが大切だと気づくことができました。健常児や障害のある子どもたち一人ひとりが大切にされていたら、子どもたちは周りの子どもたちに思いやりの心をもって優しく接することができると学びました。
- ・全体的に興味のある話しで、勉強になりました。

■ 今後、どんな研修会に参加してみたいですか？

- ・今回のように指導員として頑張っていращる先生の講演会が良いと思います。
- ・現場で働いている先生方の話を聞きたいです。
- ・今回のような研修会。
- ・今回のような講演で素晴らしいです。また、ぜひ参加させてください。
- ・はじめての市町村での研修会でしたが、近くて参加しやすかった。研修会には積極的に参加したい。

- ・また永松先生の話がきける研修会がいいです。
- ・本日のような実りのある研修会。
- ・運営について、聞いてみたかったです。
- ・保護者対応、子どもの遊び
- ・法律関係について
- ・現場で活躍されている先生の話は、とてもためになるので、またお願いします。
- ・指導員同士の子どもに対しての成長、振り返りの取り組み。
- ・指導員として働いている方の話が聞きたいです。
- ・具体的に、一日の流れ、どのような保育をしているのかを学ぶ機会がほしいです。
- ・私自身がまだまだ勉強不足なので、遊びを学んでみたいです。
- ・指導員同士の話し合い、体験報告など
- ・障害児童の実践について
- ・子どもとの遊び方、子どもが興味を持ってほしいと思う遊びを教えていただきたいです。
- ・暇があれば、色々な講演を聞きたいと思います。
- ・他県の進んだ学童保育の様々な考え、意見を聞くことと同じくらい、県内・市内の学童保育間の交流、紹介をもっと重視したほうがいいですね。児童クラブ間の交流が始まりましたね。普通の一般企業・会社がやっていること、例えば同業種、ストコンなどを取り入れていかなければと思います。
- ・こんな楽しい講演会に！ 今日みたいに、日曜・祝日なら参加できるのですが…。
- ・これからいろんな学童の方々と、情報交換をしていきたいと思います。
- ・一方的な講義という形ではなく、本日のような指導員の心に寄り添った方の話を聞きたいと思いました。
- ・今回のような話を聞ける講師
- ・子どもや保護者との接し方や子どもとの遊び方など
- ・障害児と健常児の関係や、トラブルを起こしやすい子どもへの対応。
- ・仕事の内容をまだはつきりと理解していないので、何でも（どんな内容でも）今の私には必要だと思います。
- ・学習障害、発達障害
- ・いろんな県の講師を呼んで研修会に参加したいです。
- ・意見交換会を増やしてほしい。
- ・参加者があらかじめ質問を用意して、経験豊かな方や講師の先生が答えてくださるような形の研修もいいと思います。
- ・子どもの言動、乱暴な言葉づかいにどう接していけば良いのか。(対応の仕方) 遊び。子どものケガへの対応の仕方。
- ・まだ手伝い感覚で勤めているので、研修会があれば是非参加したいです。
- ・今回のような現場の先生の話が聞ける研修会に参加してみたいです。
- ・今後も様々な現場の状況や実践の方法が分かる研修会に参加したいです。
- ・今回の講演のような同じ指導員としての現場の声を聞くことができる研修会に参加したいです。